

(令和7年度予算分)

地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書

(市町村分) 個票

自治体名 宮崎県五ヶ瀬町

本事業の担当部局名 企画課

事業メニュー	ライフデザイン・結婚支援重点推進事業						
区分	重点メニュー						
関連事業メニュー	1.2.1 自治体間連携を伴うライフデザイン・結婚支援重点推進						
個別事業名	五ヶ瀬町結婚支援重点推進事業					新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続
実施期間	令和8年4月1日		～	令和9年3月31日		事業開始年度	令和5年度
総事業費(A)(円)	2,126,000		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	2,126,000
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	2,126,000						
費用内訳 (円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役員費
	総事業費	0	0	0	0	0	0
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金		計
	総事業費	1,526,000	0	0	600,000		2,126,000
対象経費支出予定額	1,526,000	0	0	600,000		2,126,000	
対象外経費支出予定額	0	0	0	0		0	
○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
自治体における少子化対策の全体像及びその中の本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通</p> <p>本町の豊かな自然に恵まれた環境、受け継がれてきた多くの誇りある歴史・文化など、大都市にはない様々な地域資源を活かすことを基本的な考え方とし、令和8年3月に策定する「第3期五ヶ瀬町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における、本町で結婚・子育てをすることの魅力や情報の発信、妊娠から出産までの切れ目ない支援を継続的に実現する。</p>						
	<p><本個別事業の位置付け></p>						
	<p>本町では、少子化の要因の一つである未婚化・晩婚化への対応として、出会いの場の創出に重点的に取り組む。民間団体や関係機関と連携し、安心して参加できる交流イベントや体験型事業を実施するとともに、結婚を希望する若者に対する情報提供や相談体制の充実を図る。あわせて、結婚や家庭を持つことの意義や魅力を発信し、若者が将来に希望を持ち、地域に定着できる環境づくりを進める。</p>						
個別事業の内容	番号	項目	内容				
	1	出逢いづくりイベント等の開催 (町主催)	<p>結婚の希望をかなえられるよう、出会いの機会を創出するため、委託事業にて結婚イベントを開催する。</p> <p>○交流型イベント(年2回、1回目)</p> <p>・参加予定者数(定員):40名(男女各20人)</p> <p>・内容:五ヶ瀬ハイランドスキー場を活用したイベント</p> <p>・対象:おおむね20～45歳の独身者</p> <p>・地位資源である五ヶ瀬ハイランドスキー場は、町100%出資の第3セクターであるため町が主催することにより煩雑な業務調整(ハイランドスキー場との調整など)の軽減に繋がる。また、町の主催であるため参加者への安心感も高い。</p>				
	2	出逢いづくりイベント等の開催 (出会いづくり推進員主催)	<p>結婚の希望をかなえられるよう、出会いの機会を創出するため、任意団体に補助金を交付し結婚イベントを開催する。</p> <p>○交流型イベント(年2回、2回目)</p> <p>・参加予定者数(定員):20名(男女各10人)</p> <p>・内容:貸切バスを利用し町内観光とあわせて体験型交流を実施</p> <p>・対象:おおむね20～45歳の独身者</p>				
	3	県との連携、協議会の概要など	<p>【県(本交付金活用)との連携内容】</p> <p>・県と連携し、県が所有する情報発信ツールを活用してイベント情報を周知を行う。</p> <p>・五ヶ瀬町の開催するイベントにおいて、参加者に県の出会いや子育て支援に関する事業の案内をするなど、双方の事業周知を連携して取り組む。</p> <p>【協議会の概要】</p> <p>当該事業の実施方法や効果だけでなく、当該地域における地域の実情・課題や取組を共有し、地域における今後の取組全般を協議する場として、県が「ひなたの出逢い・子育て応援運動」で取り組む、「ひなたの出逢い・子育て応援運動」推進会議の、市町村及び経済団体、学生等で構成される「出会い応援部会」等に参加し、実務者レベルでの意見交換や情報共有、取組提案等を行う。</p>				
<p><過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)></p> <p>・一定の参加者数を確保できた一方、参加者の固定化やイベント後の関係継続が課題として明らかとなった。小規模自治体においては、単発的な出会いの場の提供だけでなく、きめ細かなフォローの重要性を認識した。</p> <p>・こうした課題を踏まえ、今後は、事前準備や事後フォローを含めた一体的な支援体制を構築し、結婚につながる取組へと段階的に発展させたい。</p>							